



年が明けた1月12日、花巻市社会福祉協議会矢沢支部と矢沢地域振興会の共催で、「組子体験★オリジナルの壁掛けを作ろう!」が矢沢振興センターで開催されました。伝統工芸である「組子」は、小さく切り出した木片を釘を使わずに組み立て、美しい模



様をつくりあげる木工技術のことです。矢沢小学校1〜6年生の児童や保護者、明老大学の皆さん、スタッフなど総勢63名で、市内外で活動する「ものづくりマイスター」の御指導のもと、壁掛けづくりを挑戦しました。各グループにマイスターさ

世代間交流 ☆組子体験☆
オリジナルの壁掛け作りに励む!

矢沢地域情報誌

やまぼろし

No. 47
2024年3月1日
mail : yashinkai025@gmail.com

発行/矢沢地域振興会(矢沢振興センター内) 電話29-5480 印刷/トーパン印刷株式会社

んがついて下さり、木片の組み立て方を一つひとつ丁寧に教えていただきました。様々な年代の方と交流が持てるようにグループ分けされており、それぞれのグループのペースに合わせ、作業が進められました。細かい木片を子ども達が明老大学の方へ渡していたり、耳の遠い方に子ども達がマイスターさんの説明内容を伝えたり、幅広い世代の方々がいるからこそその光景が見られました。作業を通しての会話も増えていき、「ステキだね!!」とお互いの作品の感想をお話する声も聞こえてきました。子ども達は、「思ったよりも難しく、楽しかった!」「冬休みの作品にする!」など、満足な様子でお話してくれました。

初の社協矢沢支部児童支援事業と矢沢明老大学のコラボ企画!寒さも吹き飛ば、あつたかい世代間交流となりました。



園児の和太鼓とプロの生歌に感激！ 島区民会冬期講座



ご家族や地域の皆さんの前で熱演

久しぶりに田畑がうっすらと雪化粧した2月11日、島区民会（高橋秀造会長）では恒例の冬期講座を開催しました。今回は二部構成の案内に100名を優に超す多くの地区民が集まり、開催前から久しぶりの再会に会話が弾む光景があちこちで見受けられ、この講座の大成を確信しました。

第一部は地元「島こども園」園児14名と先生方7名による和太鼓・董蕾と蕾夢の演奏です。川村優子園長の「董蕾と蕾夢」の成立の説明があり、21名による和太鼓にご家族の方は勿論地域の人は久しぶりの園児の演奏に元気をもらいました。

第二部は平成3年に日本民謡大賞日本一に輝いた矢中町在住の漆原恵美子さんによる民謡・歌謡ショーが行われました。



漆原一座勢ぞろい

漆原一座、小学一年生の女の子を含む5名による一時間余の歌と踊りの熱演でした。漆原さんの民謡「秋田よしやれ」と踊りの名手による手踊りでも幕が開き、延べ13曲の民謡と歌謡曲の熱唱に感激。途中岩手県風物詩「チャグチャグ馬コ」のエピソードを入れないから会場一体となった民謡「チャグチャグ馬コ」の合唱もあり、また、キングレコードから発売した歌謡曲「女の夢ごよみ」の紹介。最後には星野哲郎さんが作詞したカバー曲「八幡平旅情」で幕を閉じました。二津屋評議員の多田智さんの音響の効果もあり、会場が島コミュニティセンターとい生の歌と踊り、そして巧妙な話術に拍手と笑いの絶えない大満足の講座となりました。



こども広場での集合写真

矢沢地域振興会の子育て支援事業部会（伊藤裕子部会長）では、未就学児の親子を対象に毎月（8月を除く）2回こども広場を開設。また赤ちゃんの健やかな成長を願い、やさやかな誕生プレゼント事業を行っています。子育て支援のスタッフの皆さんは大張り切りでお母さんの子育てをサポートに努めています。

子育て支援 スタッフ大奮闘



熱唱の漆原恵美子さん



地域で取り組む 環境整備

高木小路地域環境保全の会
事務局長 小原 久一

高木小路地域環境保全の会は、豊かな農村環境を地域が一体となつて保全する事を目的とした国の農地・水・環境保全向上対策事業のもと、地域ぐるみの草刈り作業や景観保全などの取り組みに補助金支援される制度を活用することとし、平成19年から活動を始めました。

当地域は農業者より非農業者が多数を占めており、農村環境の保全には非農業者の協力が必要でした。

元来、高木小路地区は各種行事やお祭りを通じてコミュニケーションを図っており、各種地域団体の理解を得て取り組みを開始しました。構成団体は農家組合を始め自治会、青友会（青年）、あさひ会（中年）、令和会（壮年）、わかば会（女性）、子供会、スポーツ少年団、消防団で構成されました。

農家組合を中心に水路の泥上げや草刈り作業、環境美化活動として、一斉清掃に合せ草刈りや公民館の草取りを継続的に活動しています。また、景観形成活動におい

ては、当初朝日橋の河川敷において花壇に花植えを行つておりましたが、近年は地区内の農地に花植えを行つております。主にあさひ会、令和会の皆さんが中心に行つております。

さらに、遊休農地発生防止のため草刈部隊を編成して炎天下の中、草刈り作業に奮闘しています。

今後の、課題としては活動の担い手の高齢化が指摘されます。

地域の環境整備、景観形成活動を継続しながら参加者の交流懇親の機会を提供して行きたいと思ひます。



地域全員参加での草取り作業



美化運動の花壇整備作業

小学校コーナー

地域の方々の力で 花開く子ども達の 学び！

矢沢小学校では、地域コーディネーター西川富美子さんの企画調整のもとに、学習ボランティアとして地域の方々にお出でいただき、子ども達の学習をサポートしていただいております。



1年昔遊び

今年度はこれまで、運動会の3・4年生祝いの舞で田口守男様、5年生家庭科(裁縫)で小野ヨシノ様、照井敏子様、佐井貞子様、佐藤美枝様、古川征子様、佐藤ソメ様、6年生家庭科(調理)で古川八重子様、佐藤牧子様、川村修子様、6年生ないろいろの図画で横田裕子様、3年生書写(毛筆)で菊池青蘭(陽子)様、1年生昔遊び体験で石坂祐悦様、佐藤忠明様、大木充様、熊谷



5年和楽器鑑賞

直志様、古川征子様、谷川勝志様、3年生工作(釘打ち)小原久一様、小原朋久様、3年生消防団出前授業で佐藤峰樹様他3名、4年生合唱練習で小野紘輝様、5年生和楽器鑑賞教室で平藤まり子様、平藤高雄様、赤井英雄様、3・6年生外国語で多田澄恵様に、2年生国語で平藤まり子様、押切和美様にご協力をいただきました。

地域の皆様方にサポートしていただくことで、学習がより専門的・体験的で充実したものが安全に楽しく活動できています。さらに、子ども達と地域の方が関わることで、会話や笑顔が増え、コミュニケーション力の育成にもつながっています。

ご協力いただいた皆様方に深く感謝申し上げますとともに、今後も、様々な分野で地域の皆様のご協力を宜しくお願ひ致します。

中学校コーナー

栄光を讃える 旧生徒徒栄誉賞

(花巻市)

〔二月八日(木)〕
令和五年度児童・生徒栄誉賞受賞者が決定しました。矢沢中学校から表彰された生徒は次の通りです。(敬称略)

- 〔個人の一部〕 () は主な受賞理由
- ◆太田 莉瑚 3年 (岩手県中学校総合大会 柔道競技女子個人優勝)
 - ◆斎藤 悠 2年 (岩手県中学校新人大会 柔道競技女子個人優勝)
 - ◆菊池 玄 3年 (胡四王神楽の伝承)
 - ◆石川 希音 3年 (幸田神楽の伝承)
 - ◆佐藤 奏汰 3年 (幸田神楽の伝承)
 - ◆金森 実奈 3年 (幸田神楽の伝承)
- 〔団体の部〕
- ◆ソフトボール部 (令和5年度東北中学校体育大会第3位・全国大会出場)
 - (岩手県中学校総合体育大会優勝)
 - ・小原 幸音 3年
 - ・佐藤 真帆 3年
 - ・鎌田 怜花 3年
 - ・森橋 聖千亜 3年
 - ・八重樫 花音 3年
 - 及川 花音 3年

- ◆柔道部 (岩手県中学校総合体育大会女子団体優勝・全国大会出場)
- ・佐々木 覇奈 3年
- ・佐藤 碧海 2年
- ・小原 佳朋 2年
- ・多田 心音 2年
- ・高橋 凜々子 2年
- ・太田 莉瑚 3年
- ・金森 実奈 3年
- ・大菅 みずほ 3年
- ・斎藤 悠 2年
- ◆バドミントン部 (岩手県中学校新人体育大会女子団体優勝)
- ・菅原 巳雅 2年
- ・藤田 心こ 2年
- ・白澤 菜桜 2年
- ・高橋 野乃 2年
- ・中屋敷 真央 1年
- ・多田 紗羅 1年
- ・野呂 萌々花 1年
- ◆花巻チーム (第47回日本リトルシニア野球選手権東北大会第3位)
- ・星川 太洋 3年
- ◆金ヶ崎チーム (第34回ミズノ旗杯争奪北東北大会青森県大会第3位)
- ・菊池 陸 2年
- ◆RISE (第3回岩手県U15クラブバスケットボール選手権大会優勝)
- ・高橋 陽花 3年
- ・照井 柚琉 3年
- ◆SUN REALIZE (第15回岩手県中学生男女



ソフトボール大会兼第23回全日本中学生男女ソフトボール大会岩手県予選会優勝)

- ・小原 幸音 3年
- ・佐藤 真帆 3年
- ・鎌田 怜花 3年
- ・森橋 聖千亜 3年
- ・八重樫 花音 3年
- ・佐藤 碧海 3年
- ・小原 佳朋 2年

受賞された皆さん、おめでとうございます。

わが同好会の紹介⑱ 矢沢囲碁サークル

大庭 誠一

矢沢囲碁サークルの歴史は古く20年前、故佐藤秀郎先生が8名の同志を集い、研修・実践を内容としてスタートしました。年の初めには、大会を開催して矢沢地区の愛好者、矢沢に關係を持った人達に呼びかけ、参加者は20名近くにもなり、2グループに分けて実施するほどでした。5年、10年、15年と経過するにつれ、年々高齢化、自然減少に勝てず、4人、5人で

集い、いよいよ3人、2人となりました。消滅の危機を迎え、花南センターと合併、更に数年後花南センターも消滅、厳しい現実と直面しました。

熱心な愛好家は何とか良い方法はないかと思索を重ね、他地区の人達に協力を仰ぎ、矢沢で活動することができました。

今は亡き佐藤秀郎先生も草葉の陰で喜んでいいると思います。現在矢沢地区5人、他地区3人のメンバーで金曜日午後1時から5時の中で活動しています。《3時から4時頃には



終わるのが通常》

会費はありません。(ただし暖房費1回100円を徴収)第二金曜日には、お楽しみ会を計画しています。

平均年齢は80歳超なので随時募集中です。《脳は永遠に鍛えられる》

私のひとこと

矢沢小学校五年

澤田 梓



私は小学三年生から『花巻少年少女発明クラブ』に入会して、月二回、木工品や電子工作を制作してきました。

そして三年目、自分で発案し試行錯誤を重ねて制作した作品が『岩手県発明くふう展』で特賞を受賞して、とても嬉しかったです。

私が制作した『チェックキーマシン』という作品は、出かける時に忘れがちな、消灯・消火・戸締り等のスイッチを作り、チェックした後に、スイッチを上げると、LEDランプが点灯します。全てのLEDランプが点灯すると電磁石が動いて箱の中に入っている家のカギが出てくるという

仕組みです。

私は作品制作を通して、ものづくりの面白さを体感する事ができ、日々の生活の中で「何か工夫できる事はないか?便利な機能を作れないか?」という気持ちを持つようになりました。今後はプログラミングも活用していきたいと思います。



お父さん お母さんへ 矢小児童310名から 熱いメッセージ



交通安全協会矢沢分会と交通安全母の会は、毎年1月から2月初めにかけて銀河モールに矢沢小学校児童から交通安全を家族に呼び掛ける年賀状を掲示しています。新聞各社からも取材がありました。

編集後記

昨年12月に「矢沢地区義務教育学校設立委員会だより」第1号が各戸配布されました。

矢沢小学校と矢沢中学校が一つになり1年生から9年生までの9年制の新しい制度の学校に生まれ変わる。学校名や建設場所・規模などはこれから検討され、令和10年度にスタートする予定とのこと。何ともピツグで嬉しいニュースではありませんか。

昨年、他県への先進事例視察に参加する機会がありました。運動会などの全校行事の時などに上の学年(中学生)が下の学年(小学生)に優しく接している、学力が向上した、不登校が減ったなどいろいろな成果が見られたという報告がありました。

花巻で最初の新しいスタイルの義務教育学校。県内でも、珍しいので大いに注目されるでしょう。あらゆる点でみんなに自慢できる立派な学校になって欲しいものです。

編集委員 佐藤 信一

次号は6月1日発行予定です。

